

施策項目7 産業教育の充実

[評価結果]

【担当課: 高校教育課】



担当課HP

総合評価	計画どおり
------	-------

定量評価 [指標]	A
-----------	---

指標	評点	(a)	(b)	(c)	(d)
	評価数	0	2	0	0
	d 評価となった指標				

定性評価 [施策]	進展あり
-----------	------

産業教育の充実に向けて、グローバル化などに対応した人材育成や、企業・大学等と連携した産業教育の充実を図るため、「マイスター・ハイスクール」などの各種事業に取り組んだ結果、研究指定校において、コーディネーター機能を強化した地域産業界との連携による職業人材の育成に向けて成果が見られたほか、学びの場を学校外に確保する職業教育に向けて方向性が決定するなど、施策の進展が認められる。

[施策の推進状況]

【P】・・・「Plan 令和3年度の主な施策」 【D】・・・「Do 主な取組の状況」
 【C】・・・「Check 施策の課題」 【A】・・・「Action 今後の方向」

《課題・背景》	(1) グローバル化などの社会の変化や産業の動向等に対応した人材育成の推進 ・ 地域産業のグローバル化の進展など、多様な課題に対応できる課題解決能力の育成が急務
	(2) 企業・大学等と連携した産業教育の充実 ・ 職業学科での専門的な知識・技術の定着に基づき、専門的な進路を選択する生徒が6割程度

(1) グローバル化などの社会の変化や産業の動向等に対応した人材育成の推進	
[P] 次年度へ	<p>① 高等学校が地域の自治体や産業界等と協働・融合してコンソーシアムを構築し、探究的な学びを通じて地域におけるキャリア教育を推進する「北海道CLASSプロジェクト（地学協働活動推進実証事業）」の実施</p> <p>② 「総合的な探究の時間」を中核とした教科等横断的な視点によるカリキュラム・マネジメントの確立や授業改善等について、指導主事による指導助言の継続のほか、各種研修会への参加の促進</p>
[A]	<p>① ・道内4圏域（道央、道南、道北、道東）において、それぞれ推進校4校、連携校4校を指定 ・ 生徒が主体的に地域の魅力や課題を把握・整理し、課題の解決を通じた探究的な学びを実現 ・ 各圏域において、地域、大学、産業界等と協働した、コンソーシアムの構築（教員以外の人材をコーディネーターとして設定） ・ 地域コーディネーターが抱える課題の解決及び資質の向上を図るフォローアップ研修を実施</p> <p>② 地域コーディネーターが高校と自治体や産業界をつなぎ、地域課題探究型のキャリア教育を推進しているが、社会の急激な変化や、産業構造の変化などに対応できる資質・能力を身に付けた人材育成に向けて、地域と学校が一体となった教育課程の改善・充実を図ることが必要</p>
	[D] [C]
(2) 企業・大学等と連携した産業教育の充実	
[P] 次年度へ	<p>① 将来の本道産業を支える人材育成するため、農業高校と工業高校において、大学や企業等との連携により実践的な職業教育を行う「専門高校フューチャープロジェクト」の継続実施</p> <p>② 最先端の職業人材育成システム構築に向けた「マイスター・ハイスクール事業」の実施</p> <p>③ テレワークなどの多様な働き方に関する情報発信</p>
[A]	<p>① 研究指定校である岩見沢農業高校と札幌工業高校が行う各種の実験及び、実践研究の成果と課題等について専門的見地から指導助言</p> <p>② 事業運営の意思決定、評価等を行う運営委員会や、事業を実行する事業推進委員会を設置して、学校への支援体制を構築</p> <p>③ 関係機関と連携し、新規高卒者の多様な働き方について情報を取りまとめて、進路だより等を通じて各高等学校に周知</p> <p>① 企業や大学等の関係者から技術指導を受けることで、豪雪寒冷地域における農業の課題解決に向けた研究に取り組んでいるが、事業の一層の充実や関係機関の連携強化を図っていくため、専門高校における異なる分野が連携した学習の機会を充実させることが必要</p> <p>② 事業を通して、地域産業の課題解決に向けて、軽種馬や食品加工に係る最先端の知識や技術を身に付けることができているが、マイスター・ハイスクール運営委員会の指導助言を受け、事業終了後においても、学校と地域が連携・協働を継続させることが必要</p> <p>③ 各産業に従事することができる知識・技能の習得のため、多様な働き方への理解を深める取組が必要</p>
	[D] [C]

[指標の状況及び評価]

指標の内容	基準値	目標値（上段）						進捗率	評価	出典 (調査名等)	実施主体	調査期 日又は 調査対 象期間	指標の 対象
		実績値（下段）											
		(H29)	(H30)	(R元)	(R2)	(R3)	(R4)						
① 職業学科を設置する道立高等学校において、企業や産業界、大学等と連携し、世界を視野に地域の課題解決に主体的に取り組むなど、グローバル人材の育成に取り組む学校の割合(%)	(H28) 36.0	57.4 54.9	68.1 64.7	78.8 87.1	89.5 82.9	100	92.6%	b	職業教育関係教育課程に関する調査	道教委	R4.5	道立高等学校及び道立中等教育学校後期課程	
② 職業学科を設置する道立高等学校において、生徒が学んだ専門的な知識や技術も踏まえて進路を選択した者の割合(%)	(H28) 60.0	73.4 58.7	80.1 64.0	86.8 85.3	93.5 90.0	100	96.3%	b	職業教育関係教育課程に関する調査	道教委	R4.5	道立高等学校及び道立中等教育学校後期課程	
評価結果	(a) 指標数	(b) 指標数	(c) 指標数	(d) 指標数	定量評価		A	d評価に対する今後の取組		/			
	0	2	0	0									